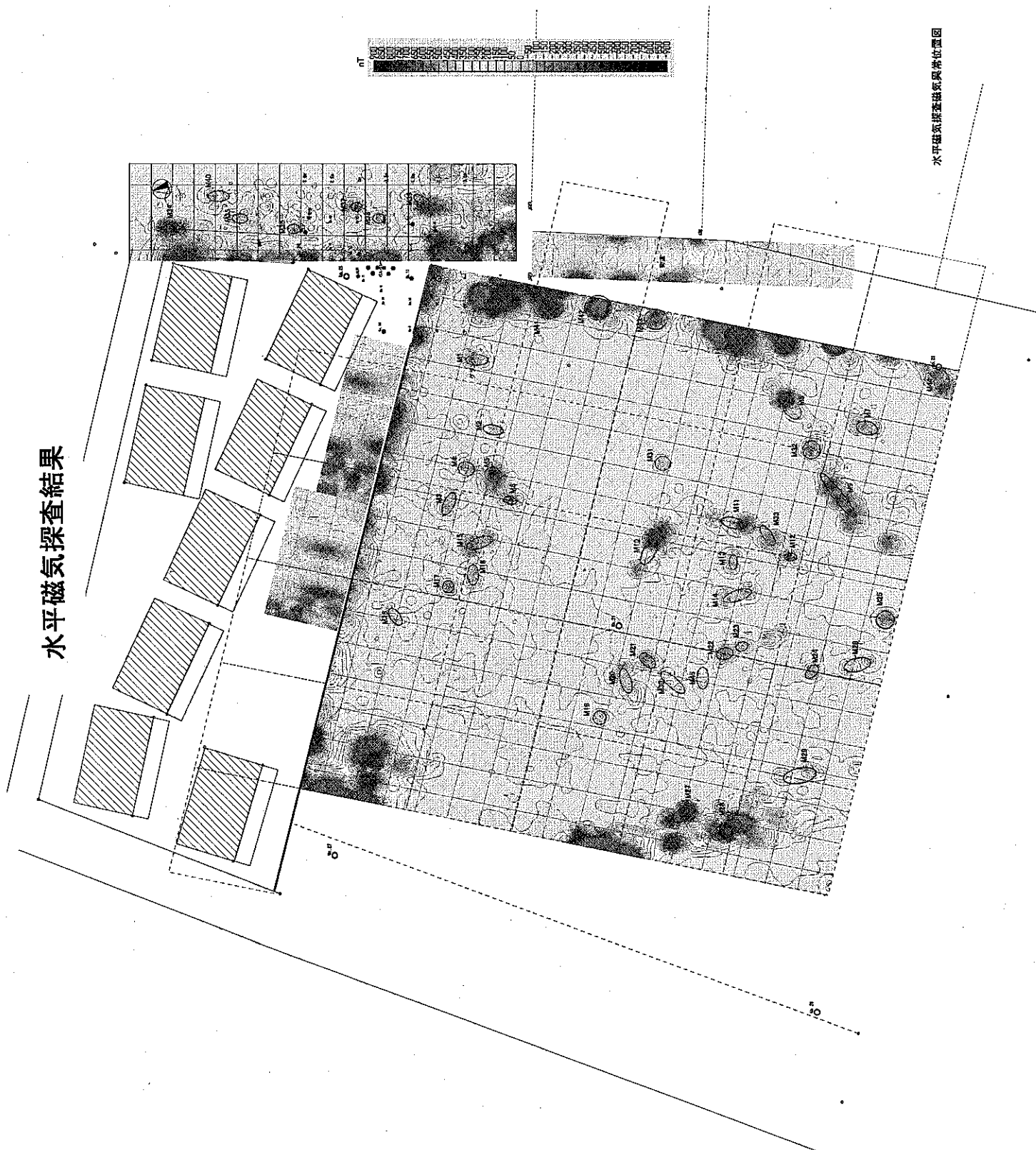


水平磁気探査結果



記者提供資料

平成15年9月26日
 企業局工務課 総括補佐 飯島
 (内線 4971、直通 029-301-4974)
 業務課 主 査 三村
 (内線 4957、直通 029-301-4958)

鹿島工業用水(地下水)における有機ヒ素化合物の検出について

鹿島工業用水で神栖町大野原地区に有している10本の井戸(給水能力計10,000m³/日)について、8月11日に採水し総ヒ素の検査をした結果、8月18日B地区に位置する2本の井戸から高濃度の総ヒ素が検出されたため、改めて(財)化学物質評価機構に依頼し有機ヒ素化合物の分析を行ったところ、ジフェニルアルシン酸が検出されました。

〈有機ヒ素化合物分析結果〉

- ・平成15年9月10日 採水
- ・平成15年9月26日 結果判明

(単位: mg/l)

井戸	総ヒ素量	ジフェニルアルシン酸
5号井	0.060	0.03(0.008)
10号井	0.146	0.43(0.123)

※ () 内はヒ素換算値でジフェニルアルシン酸に含まれるヒ素の量である。

- 企業局のこれまでの対応
 高濃度の総ヒ素が確認された5号井及び10号井について、8月18日から取水を停止しております。
 なお、原因究明がされるまで停止を継続する予定です。
 ※ 受水企業 6社 約5,000m³/日
- 受水企業への影響
 鹿島工水(地下水)の受水企業の業種は化学工業や熱供給業で、地下水は製造工程における冷却水、洗浄水等に使用しており、製品の製造過程では直接的に使用されておりませんので、受水企業への影響はありません。
- 今後の対応
 受水企業に対しては、本日直ちに説明を行う予定です。

大野原井戸位置図

